

壁装研究会 50 年史刊行に臨んで

一般社団法人壁装研究会

会長 前田光弘



このほど表題のように当研究会の 50 年史をまとめることができました。詳しい内容については皆様にもぜひ御高覧願えれば幸いですが、創立時の先輩方並びに草創期からのメンバー各位のご協力のおかげにて充実した内容となっているものと存じます。壁装業界の将来をリードしようとする団体としてスタートしたその活動の経緯と意義が、簡潔かつ的確に記録されているものと自負しております。

草創期は勉強会のような形でスタートし、当時内装の主流になりつつあった壁紙の、施工技能の確立、安心・安全のための建設省関連防火施工法の研究、壁装独自の職人育成方法等々を研究するためにメンバーが集まり、活動の積み重ねとともにこれらの目的が充実されてまいりました。また当時は、通商産業省の主導にてトータルインテリアという考え方が内装にも取り入れられ、インテリアとしての壁装、家具やファブリックス等の他のインテリアエレメントとの連携についても、将来必ず壁装施工者が直面するものと考え、これら関しても勉強する場を設けようとしたものでした。

思いますに当時のことを一口で申し上げれば、「壁紙の施工者が壁紙だけ張っていればそれで済む時代ではない」という将来への強い危機意識の表れであると言えましょう。もとより記録にある通り、当初からそのような活動ができた訳ではなく、懇親を深め意識を高め合う講演会や勉強会、海外研修会等により活動をスタートしました。

そこから徐々に専門出版物の刊行(『壁張りの技法』等壁装技能の独立)、技能テキスト類の編纂(クレーム対応のための技能テキスト類、啓蒙パンフレット類)、防火・防災等の諸制度の普及・啓蒙活動(防火壁装材料標準施工法編纂等)など、多くの具体的な成果を達成しております。特に海外のインテリア事情の研修については、本年史でも詳しく触れておりますが、ヨーロッパを中心にインテリア関係の視察・研修を毎年実施しており知見を深めて参りました。また研究会独自の視点としてドイツのマイスター制度や北欧のインテリアスクールなどの施工者の育成制度・機関についても勉強しており、それらの成果を我が国に取り入れる努力をいたしました。このように活動は多岐にわたっており、創立時の 5 社の、当時は若手だった先輩各位の先見の明には、驚かされ、また今となっては改めて深く感謝申し上げる次第です。今日の壁装研究会の基礎を固めた文字通りの功労者と申せましょう。その後、仲間内に向けた情報発信や提案だけでなく、関係する他の団体等とも防火・防災等の諸制度の実施に関しては、積極的な提案と実務での貢献ができたものと考えております。

時の経過とともに少数精鋭の充実した会員に加え、製造業者、販売業者等とも組織的に交流を図り、新製品の施工講習会、施工に関連する技術情報の収集といった施工者のための情報発信に力を尽くした経

緯が本書にも見て取れます。特に壁装では大臣の防火認定を扱う団体である日本壁装協会の旧壁装材料協会時代から、防火仕様の研究、認定仕様に基づく施工方法、接着剤等の資材選定等への意見具申を継続し安心・安全のために尽力しております。2005(平成 17)年からは直接「施工管理者ラベル」を発行する団体となることを日本壁装協会より認められ、ラベルの発行管理も含めて防火施工仕様の総合的な管理と普及に貢献してきました。

2015(平成 27)年には、先代中村会長よりバトンタッチを受け会長に就任いたしました。施工実績等も低下傾向にありかつ施工単価等の面で過酷な立場に置かれる施工者の現実を目の当たりにしますと、将来の壁装の在り方が大きく変わろうとしている予感に駆られ重責を実感いたしました。

当研究会でも、①環境問題への対応のためのリサイクルの推進、②インターネット社会での内装やインテリアの在り方とビジネスモデルの再構築、③安心・安全のための防火等制度上の検討の深掘りなど、多くの課題があります。そこで 50 年の節目と言うこともあり、新たな 50 年に向かって進むため、2017(平成 29)年に「一般社団法人 壁装研究会」として再スタートを切りました。これまで任意の研究会という身軽さを活かした活動をしてまいりましたが、ここで法人化を図り、責任ある団体としてさらなる発展のための改革に努めたいと考えております。

直近の課題といたしましては、伝統的施工技術の継承、日本のデザイン等を生かした高品位デザイン壁紙の発信。製造・流通・施工、そしてデザインの向上普及等々会員各位、各層が積極的に事に当たれば、より壁装業界の発展が望めるものと確信しております。

そのエネルギーの受け皿となれる団体として、この先の 50 年に向け更なる発展をしてまいる所存です。

終わりに本書の刊行に当たり、編纂委員長をお勤めいただきました中村正志前会長、鈴木榮一事務局長、前壁装新聞芦田恵袈雄氏、前日本壁装協会常務理事山下洋一氏、弊会事務局高橋秀明氏ほか多くの皆様に原稿執筆、資料検索・提供、情報整理等にご協力をいただいたことを感謝申し上げます。

以上